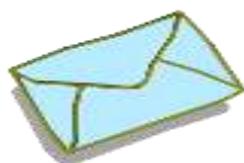


全国保健師長会
群馬県支部 **ミニつうしん**
令和元年度 第1号

発行日

令和元年8月15日

支部長 高橋 雪子



支部長あいさつ

支部長 高橋 雪子

日頃より、全国保健師長会群馬県支部の活動にご協力いただき厚く感謝申し上げます。長く続いた梅雨もようやく終わり、やっと夏が来た今日この頃、みなさまいかがお過ごしでしょうか？

令和元年6月1日の総会にて承認いただき、この度支部長を拝命いたしました、高橋雪子です。もとより微力ではございますが、支部長として、皆様にご協力いただきながら精一杯努めて参りたいと存じます。どうぞよろしく申し上げます。

今年度は会員数が116名となりました。他県と比較しますと、市町村の会員が、まだまだ少ない傾向です。市町村の方への周知をしていきたいと思っております。

さて、令和に年号も変わり、時代が変化してきています。それとともに健康課題も変化してきています。昔とは家庭環境もずいぶん変わりました。

日々虐待関係の記事が新聞を賑わせ、児相や警察の体制変化、ひきこもり対策や健康増進法の改正等、日々変化し続ける中、保健師の活動も変化し、分散配置になっておりますが、保健師の志だけは、変わらないものにしたいものです。

今年度の総会では、40周年記念事業で流したDVDの上映、当日の研修会では、日本看護協会常任理事の鎌田久美子先生による「未来を創造する保健師活動について～後輩たちに伝えたいこと～」と題して講演会が行われました。たくさんの会員に参加いただきありがとうございました。先生の講演をお聞きし、元気が出た！と思っていただければ幸いです。

また、今年度の群馬県支部の活動ですが、第2回の研修会を12月7日に計画しております(2ページ参照)。詳細が決まりましたら、再度ご案内いたしますので、予定に入れていただきますようお願いいたします。

全国保健師長会の動きとしましては、8月31日に北関東・甲信越ブロック研修会が「みる・つなぐ・うごかす ～保健師の原点から住民と共に創る未来～地域に責任をもった活動の強化のために」というテーマで茨城県にて開催されます。全国総会は岡山県での開催となります。遠方なので参加がなかなか難しいですが、会議等の報告は、ミニつうしんで皆様にお知らせしたいと思っております。

最後になりますが、日々仕事が続いていると思っておりますが、ちょっと立ち止まり、少し気分を変えてみると、新たな視点や考えが浮かんでくるものです。また、保健師以外の人の意見なども新たなアイデアも出てくるかもしれません。諦めず、めげずにやっていきましょう。

今後も全国保健師長会並びに群馬県支部の発展に向けて、会員のみなさまのご協力をお願いいたします。

令和元年度全国保健師長会活動テーマ

健康危機管理への対応や、虐待防止対策、自殺予防対策、生活習慣病対策、さらには地域包括ケアシステムの構築など、不確実性の高い課題にこそ地域特性に応じた専門性の高い活動が求められています。

全国保健師長会は、昨年度で発足40周年を迎えました。当時の設立趣意書には「保健師の機能を充分発揮して、地域住民の健康保持増進に寄与するため保健師業務の指導的立場にある者が一丸となってその目的を達成する」と記されています。

発足以来この精神は引き継がれています。公衆衛生看護活動の使命を全国の会員と確認・共有し、『保健師活動の原点から住民とともに創る未来』をめざすため、保健医療福祉や産業、教育分野などの多様な機関との連携を強化し、各ブロック活動の充実強化や研究的な取組の推進を図ることにより、次世代を担う保健師の成長を支援しながら、全国の保健師のつながりを強化していきます。

“未来を創造する公衆衛生看護活動の展開”

ーみる・つなぐ・動かす～保健師の原点から住民とともに創る未来～ー

最重点活動目標

- 1 保健師活動の可視化及び質の向上
- 2 情報発信の強化
- 3 災害保健活動の推進
- 4 市町村の会員拡大
(詳細は全国保健師長会ホームページをご覧ください)

※今年度の支部活動では、右記を実施、計画しています。

今年度も、本部からの情報提供やお願いメールの送信等最新情報をお伝えしていきます。会員の皆様のご意見をいただきながら支部活動を進めていきますので、よろしくお願いいたします。



◆ 8月31日(土)

全国保健師長会北関東・甲信越ブロック研修会
会場：茨城県立健康プラザ

「みる・つなぐ・動かす～保健師の原点から住民とともに創る未来～地域に責任を持った活動の強化のために」をテーマに開催

◆ 11月16日(土)

全国保健師長会代議員総会
会場：ピュアリティまきび(岡山県岡山市)

◆ 第2回研修会

12月7日(土)

午前10時～11時30分

会場：ぐんま男女共同参画センター 大会議室
テーマ：「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について(案)」

講師：国民健康保険中央会

調査役 鎌形喜代実氏

群馬県県後期高齢者医療広域連合

保健事業課長 太田百合子氏

総 会 報 告

令和元年度全国保健師長会群馬県支部総会

日時：令和元年6月1日（土）13時30分～

場所：ぐんま男女共同参画センター 大研修室

6月1日（土）に令和元年度全国保健師長会群馬県支部総会を開催しました。

当日の出席者は会員49名で、平成30年度事業報告、会計報告、会計監査報告、令和元年度事業計画、予算が承認されました。

総会後の研修会は、公益社団法人日本看護協会常任理事（元全国保健師長会会長）鎌田久美子氏より、「未来を創造する保健師活動」～後輩たちに伝えたいこと～と題して、ご講演いただきました。

研修会に参加された会員から、感想を寄せていただきました。

一 研修会に参加しての感想 一

群馬県 保健師

令和元年6月1日（土）に鎌田久美子先生を講師にお迎えし『未来を創造する保健師活動について～後輩たちに伝えたいこと～』と題して全国保健師長会群馬支部の研修会が開催されました。鎌田先生は2018年度から日本看護協会常任理事（保健師職能委員長）として御活躍されています。現役時代には福岡県保健師として、現在の仕組みができる前から保健所の強みを生かして在宅医療推進事業に取り組む等、さまざまな事業に取り組んでこられた方です。研修の中で、温故知新として「今、なぜ、保健師の人材育成が急務なのか」という課題の背景にある保健師の現状と取り巻く環境について話されました。時代のニーズに対応した活動が常に求められていること、健康課題が積み上がっていること、全世代型の地域包括ケアシステムの構築に向けて、専門職としてどの段階にも対象者と一緒に考えることができる強み、そのことから多職種連携の要と期待されていること。課題を分析して住民と共有し、何が必要か、ともに話し合うことから始めることができるのが保健師、と。そのために人材育成が必要であり、支える基盤として、統括保健師による分野横断的な取り組み、横串を指すことの必要性を熱を込めてお話してくださいました。

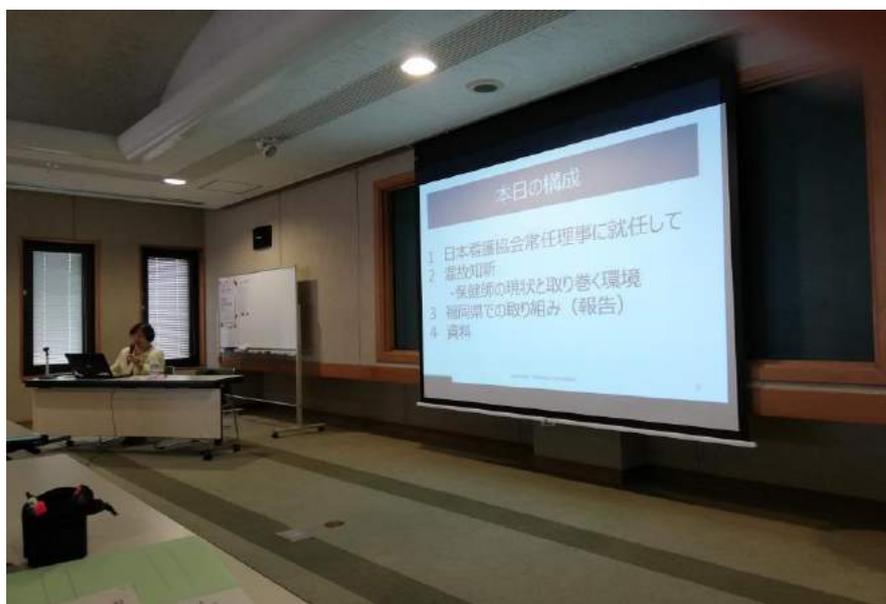
一方、保健師活動指針の見直しから5年、そろそろ見直しも必要な時期となってくる。自治体保健師の標準的なキャリアラダー、管理職保健師に向けた能力に係るキャリアラダーが示されていること、求められる能力をどのように高めていくかは大きな課題です。

後輩である私たちへのメッセージとして、「保健師活動の魅力を伝えていますか？」との問いかけと、ご自身が学んできて大切にされている言葉の数々を紹介していただきました。講師の言葉に保健師魂を感じて、自分が今、そしてこれからできることは何か、と考えさせられる研修会でした。

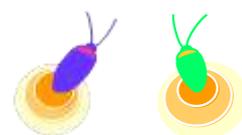
最後に、ご紹介いただいた中から、三つ皆様にご紹介させてください。

特にリーダーに求めたいこと「保健師としての使命感と誇りをもって、目先のことだけにとらわれず、本質を見極める力、臆せず一步を踏み出す勇気と決断が必要」

二つのATM「明るく／楽しく／前向きに」「あきらめず／立ち止まらず／めげない」
平成30年歌会始で秋篠宮妃紀子様が詠まれた句（お題『語』）
「人びとの／暮らしに寄り添ふ保健師らの／語る言葉にわれ学びけり」



編集後記



今年の梅雨は例年になく晴れ間が少なく、日照不足による野菜価格の高騰がありました。野菜だけでなく私たちのメンタルにも少なからず影響があったのではないかと思います。梅雨明け宣言後は連日の猛暑続きの中、皆さん毎日お仕事が大変お忙しいとは思いますが、各自健康管理に十分気をつけ、暑い夏を乗り越えましょう。